



第12回

全国路面電車サミット 2015 鹿児島大会開催

☆テーマ:路面電車からLRTへ、交通まちづくりの展開
☆開催日:2015/10/24(土)、25(日)

欧米から始まった路面電車の見直しは今や世界に波及し、LRT 新設都市は155都市(2014 末)となっています。
一方、日本でも多くの都市で路面電車の導入、延伸がようやく本格化しそうです。路面電車から LRT への展開は何が必要なのか?
都心部に芝生軌道を導入し交通局も新築移転した鹿児島に集い参加者一同で問題点を共有して議論しましょう。



スケジュール

☆10月24日(土)

10:00~15:00 「ゆーゆーフェスタ」見学自由 (市電2系統郡元行き)神田電停
場所:新交通局(鹿児島市上荒田町 137-20 TEL 099-257-2111)
18:30~20:00 路面電車サミット懇親会 参加費 4,000 円場所:ホテルタイセイアネックス
(市電2系統郡元行き)高見橋電停(鹿児島市中央町 4-32 TEL 099-257-1111)



☆10月25日(日)

9:30~13:00 路面電車サミット本会議 (各団体発表など)
参加費:資料代として1,000円頂戴致します。
場所:天文館ビジョンホール 8F (市電2系統鹿児島駅前行)天文館電停
(鹿児島市東千石町 13 番 3 号 VISION BILD Tel 099-292-8500)
・芝生軌道紹介(鹿児島市公園緑化課)

- ・「路面電車走れば」等演奏(シンガーソングライター高橋涼子さん)
・全体意見交換(司会・宇都宮浄人関西大学教授)コメンテーター服部重敬氏
本会議プログラムの詳細はラクダホームページに掲載しております。
お問合せ参加申し込みは裏面の参加予約票(pdf)に記入頂き、
下記(NPO法人公共の交通ラクダ)までお送りください。



TEL 090-3743-4778 FAX 086-232-5502
okj165@poppy.ocn.ne.jp RACDA 岡将男
TEL 090-1357-4677 FAX 086-463-7107
nqk55048@nifty.com RACDA 堀脇正信
主催:第12回全国路面電車サミット2015鹿児島実行委員会
共催:全国路面電車愛好支援団体協議会・全国路面軌道連絡協議会
後援:国土交通省・鹿児島市・鹿児島市交通局・公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会
協力:新交通システム推進議員連盟(LRT 推進議連、国会超党派)

なお、鹿児島ではLRT都市サミットが10月23日(金)、24日(土)午前中迄開催されます。
一般参加者として参加可能ですが申込が必要です。下記サイトに申込書がありますので各自お申込みください。
LRT都市サミットの概略スケジュール(詳細は鹿児島市ホームページをご覧ください)
・10月23日(金)
(昼)新交通局舎にてオープニングセレモニー
東急 REI ホテルにて首長会議。(鹿児島中央駅至近、新交通局から路面電車10分)
・10月24日(土)LRT都市サミット
(午前)東急 REI ホテルにて記念講演、事例発表、国土交通省報告 (裏面へ)

NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)
事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502
E-mail:info@racda-okayama.org
URL:http://www.racda-okayama.org
RACDA 検索



第12回全国路面電車サミット 2015 鹿児島大会 参加予約票

平成 27 年 月 日 記載

名前 (所属)		1. 交流・懇親会 参加 24日 18:30 - 20:00 (参加費 4,000円)
メールアドレス		2. 全体会議 参加 25日 9:30 - 13:00 (参加費資料代 1000円)
住所 (連絡先)		(参考)LRT サミット 23日参加 同 24日参加 ゆーゆーフェスタ 参加

参加する項目の番号に○印をつけて下さい。

(頂いた個人情報は大会事務局からの連絡のみに使用します。)

FAX 086-232-5502 メール okj165@poppy.ocn.ne.jp (RACDA 岡将男)

☆全国路面電車サミットとは

1993年(平成5年)7月に札幌市(中央区)の呼びかけで、市民の路面電車に対する関心の高まりや日頃の「市電のふるさと事業」等の活動の成果を踏まえて、路面電車を積極的にまちづくりに活用していくことを目的に「市電街づくりフォーラム」を開催しました。フォーラムの開催にあたり、開催前日に札幌市中央区が主催して全国の路面電車愛好支援団体と事業者の代表が一同に会し、初の路面電車サミットが開催されました。サミットでは路面電車を中心としてさまざまな活動を行っている各地の愛好支援団体(団体の中には、単なる趣味の会的なものから都市の中での公共交通機関の活用といった視点を持つ市民団体まで含まれています。)と事業者が相互に交流を深め、路面電車をとりまく課題、問題等について意見交換を行い、路面電車の持つ利点を見直し、公共交通機関としての役割、活性化等について議論を深め、路面電車の社会的な役割や魅力を認識し、路面電車の今後のあり方についてさまざまな提言をした「サミット宣言」を行いました。こうして路面電車サミットがはじまり、以降おおむね2年ごとに路面電車が運行されている都市において開催されるようになりました。6月10日の「路面電車の日」もこの路面電車サミットの提言を受けて制定されました。これまでの開催歴は以下のとおりです。路面電車サミットは、当初、路面電車がある都市の行政が主催し、愛好支援団体と事業者が一同に集い、都市の中での路面電車の役割・活用について議論を深めていく場としてははじまりましたが、回を重ねるごとに国や各地の地方自治体や市民の路面電車に対する関心が高まり、高齢化社会への対応や地球温暖化、交通渋滞、中心市街地の衰退等の都市問題のひとつの対応策として、行政及び他の交通機関との連携した路面電車の活用・発展が有効であるとの認識で、近年開催される路面電車サミットへの関心が全国的にも高まっている状況となっております。

全国路面電車サミットの開催歴

- 第1回 札幌市(1993) 路面電車存廃問題 存続決定・札幌駅延伸検討
- 第2回 広島市(1995) 存在意義 低床車導入・横川駅結節・新線検討
- 第3回 岡山市(1997) 延伸・環状線化計画低床車導入・吉備線LRT化検討
- 第4回 豊橋市(1999) 豊橋駅延伸 車輛更新・電停新設・低床車導入
- 第5回 熊本市(2001) 低床車導入 延伸・熊本電鉄線乗入検討
- 第6回 函館市(2003) 復元レトロ車導入 部分低床化改造・低床車導入
- 第7回 高知市(2004) 高知駅結節・低床車導入 はりまや橋交差点改良
- 第8回 長崎市(2006) 低床車導入 長崎駅前広場へ乗入決定
- 第9回 福井市(2008) 低床車導入 えちぜん鉄道との相互乗入検討
- 第10回 富山市(2010) 富山ライトレール 環状化後の駅前乗入
- 第11回 大阪・堺(2012) 低床車導入 東西線の再検討
- 第12回 鹿児島市(2015) 芝生軌道 湾岸部延伸検討

